

4-4 リスニングにおける試験時間の延長方式

試験時間延長を許可された受験者のリスニングでは、CD プレーヤーを使用します。「連続方式」と「音止め方式」の2つの方式があり、受験上の配慮を申請する際に、どちらか一方を選択することになります。どちらの延長方式でも試験時間は同じです。それぞれの延長方式を十分理解した上で申請してください。

また、申請後の延長方式の変更はできませんので、不明な点がある場合は、事前に大学入試センター事業第1課(→裏表紙)に問い合わせてください。

連続方式

連続方式は、あらかじめ設定された時間配分のとおり問題音声が進捗し、音声を途中で止めることはできません。問題音声の時間は一般受験者と同じですが、各設問のあとに設けられている音声の流れない空白時間(問題冊子を読んだり、解答をするための時間)が一般受験者より長くなっています。進行について受験者の判断の余地はない反面、全ての設問を聴取することができます。

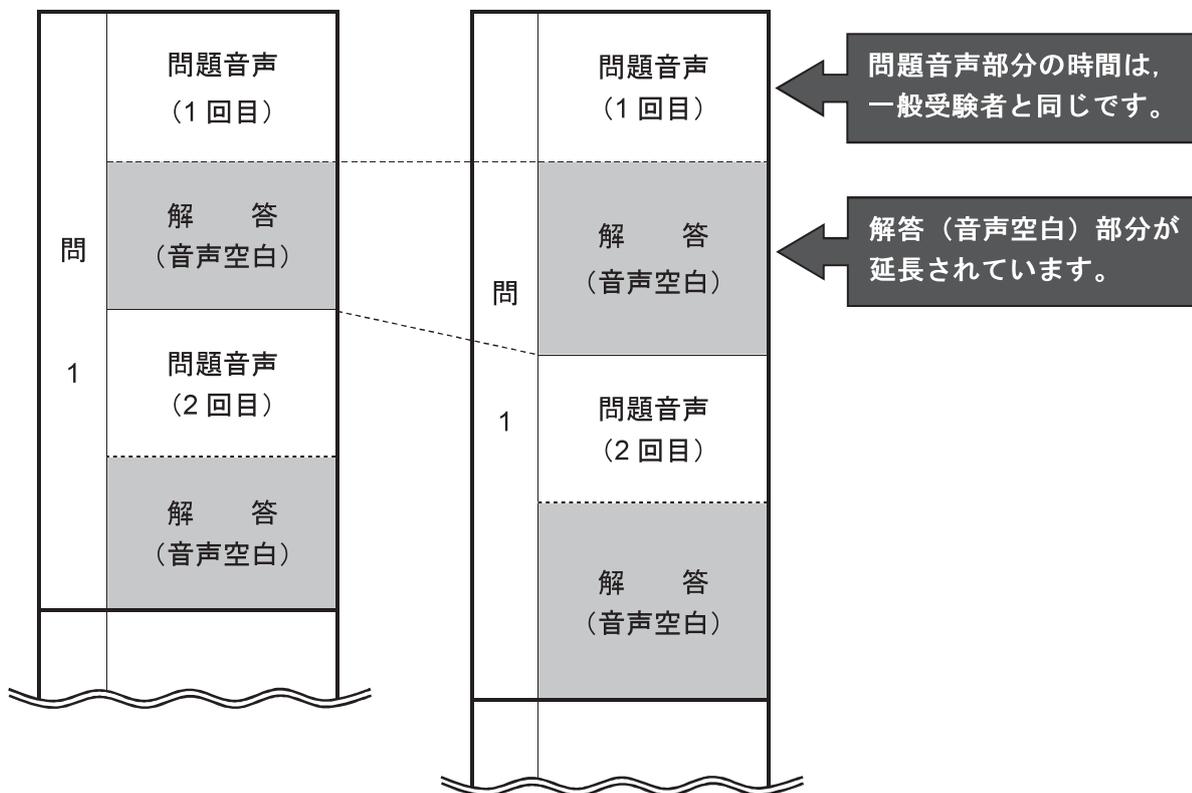
問題音声は設問ごとに2回流れます。

点字解答の解答用紙の交換については、監督者の指示により行い、解答時間には含まれません。

連続方式の時間延長部分

【一般受験者】

【連続方式】



音止め方式

音止め方式は、監督者が設問ごとに音声の停止させて、受験者は音声の停止中に解答する方式です。監督者は、受験者の合図により、次の問題音声を再生します。

どの設問の解答に時間を多くかけるかを受験者が自分で判断できる反面、特定の設問の解答に時間をかけすぎると時間切れとなり、最後まで設問を聴取することができなくなることもあり得ますので、十分注意してください。

問題音声は設問ごとに2回流れます。CD プレーヤーの再生・一時停止は、監督者が操作します。

点字解答の解答用紙の交換については、いつでも行えますが、交換にかかった時間は解答時間に含まれます。

音止め方式における解答の流れ

